

生活支援コーディネーターニュース

～誰もがつながりあって、安心して暮らせるまち上尾～

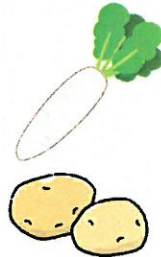
発行 社会福祉法人上尾市社会福祉協議会
〒362-0011 上尾市平塚724番地
TEL 048-773-7155

こんにちは、生活支援コーディネーターです。
長期化するコロナ禍で、皆さまはどのようにお過ごしでしょうか。これまでのような“つながり”が元のかたちに戻るまでには、まだまだ時間がかかることは、誰もが感じているところかと思います。
いつものように顔を合わせて、茶飲み話に花が咲いていたころ……
大変だけど、みんなとともに汗をかきながら活動する中で、自然と笑顔になっていたころ……
新型コロナウイルス感染症が私たちの生活へ影響し始めて、一年以上経つ中で、お互いが大切だからこそ自粛する生活が、いつしか心身ともに影響を受け始めているようです。やはり、「顔を合わせる」「心を通わせる」ってとても大切なことなんだと、改めて感じますよね。
地域では様々なかたちで、“今できること”を合言葉に、活動が芽生え始めています。日々の生活の中で、自分にもできることを一緒に見つけていきましょう。

コロナ禍でも人とのつながりを切らない取り組みをご紹介します♪

上尾市社会福祉協議会原市団地支部

はらだんらん畑 “初めての収穫祭”
土いじりの興味のある方ボランティア募集中！



畑に詳しいご近所さんに協力いただき、“はらだんらん畑”で初めてじゃがいもなどを収穫。草取りとの闘いは続きますが、今後も住民の方たちに喜んでいただける催しを検討していきます！

柏座2丁目町内会

“ラジオ体操”
野外でのサロンを開催しました！！



コロナ禍で通常開催が難しい中、野外での活動として「ラジオ体操」を開催。町内の方たちが久しぶりに顔を合わせることができ、心も体も元気になりました！

コロナ禍での“わたしにできること”



今まで当たり前であった生活や活動、やり方や方法が成り立たなくなり、時間が経つにつれて、誰しものが気持ちを維持するのが大変ですよね。

「孤立」「フレイル」など、心配されるような言葉が聞こえてくる時だからこそ、「やりたいこと」「大事にしたいこと」を改めて考えてみませんか。

今回は、そんなお一人をご紹介します。

大谷本郷にお住いの 小林さん



“折り紙”に想いを込めて

「定年退職後は何をしようか・・・」と現役のころから考えていた小林さんですが、昔からボランティアには興味があったそうです。

上尾市ボランティアセンターに相談したことをきっかけに、折り紙や手品のグループ活動に参加して基礎を習得。その後、折り紙や手品を通じた活動は、グループに入らずとも個人で活動できると気づき、自ら近隣の施設などを訪ね、利用者の方と一緒にしかかわる活動を続けて来たそうです。

しかしながら、コロナ禍で施設への訪問ができず、自粛生活が続く中、新たに“自分にできること”を模索された小林さん。スマートフォンで「折り紙」とキーワード検索したところ、たくさんの参考になる動画を発見！！その中には話題になった「鬼滅の刃」のキャラクターもありました！

最初はとても難しく、繰り返し動画を見ながら練習に練習を重ねた結果、今では、1作品を20分ほどで作り上げ、その作品数はなんと100種ほどに🎵

「コロナ退散！」「鬼滅！！」と、一日も早いコロナ禍の終息を願うのはみな同じです。一緒に折ることはできませんが、少しでもみんなが笑顔になることを願い、施設や幼稚園などへお届けしているそうです。

特技を生かしたボランティア活動は年齢問わず！コロナ禍でも感染拡大予防に気をつけ、自分が楽しく出来ることを続けていける小林さんの活動に元気をもらいました。



携帯で検索していると
すぐに充電がなくなる
のが悩みです
(´ω`)・・・



社協では、これからも「一人じゃないんだ！」と思ってもらえる取り組みを、支部社協や地域の皆さまと考え、ご紹介していきます！どうぞよろしくお願ひします。

